



ハトダヨ  
2018年  
10月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ

〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号

TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

市中央図書館だより

第30号 平成30年10月1日 発行

## 予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんにご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成30年9月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

1	魔力の胎動	東野 圭吾／著	11	カットバック	今野 敏／著
2	未来	湊 かなえ／著	12	凶犬の眼	柚月 裕子／著
3	かがみの孤城	辻村 深月／著	13	下町ロケット [3]	池井戸 潤／著
4	ファーストラヴ	島本 理生／著	14	悪徳の輪舞曲(ロンド)	中山 七里／著
5	あやかし草紙	宮部 みゆき／著	15	ペインレス 上	天童 荒太／著
6	大家さんと僕	矢部 太郎／著	16	ラプラスの魔女	東野 圭吾／著
7	青くて痛くて脆い	住野 よる／著	17	青空と逃げる	辻村 深月／著
8	ロンリネス	桐野 夏生／著	18	極上の孤独	下重 暁子／著
9	おまじない	西 加奈子／著	19	任侠浴場	今野 敏／著
10	ののはな通信	三浦 しをん／著	20	万引き家族	是枝 裕和／著

## イベント告知

### 図書館員のブックトーク



日時：平成30年10月27日（土）  
14：00～14：50（開場 13：30）  
場所：函館市中央図書館2階 大研修室  
定員：50名 申込不要（出入り自由）

秋の読書週間イベントとして恒例となりましたブックトーク。今年も、図書館員がおすすめの本について熱く語ります。  
来場者には読書手帳をプレゼント！

### 佐々木譲氏講演会

日時：平成30年11月10日（土）  
14：00～15：30（開場 13：30）  
場所：函館市中央図書館 視聴覚ホール  
定員：150名 申込不要・先着順  
北海道出身で直木賞作家の佐々木譲氏に『物語の役割・小説の力』をテーマにお話しいたします。また、『佐々木譲特集』と題した展示を貸出カウンター前にて11/18（日）まで設置しています。ぜひご利用ください。

ハトダヨにしか  
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

## スタッフのおすすめ本

タイトル: 「13・67」

棚: A22~A24  
請求記号: 923.7㊦

著者: 陳 浩基 出版社: 文藝春秋 (2017年9月)

昨年、某海外ミステリランキングで、一位になった作品。香港が舞台のこの作品、作者の陳 浩基も香港の作家。外国の文化・歴史も知ることが出来て、ミステリーの魅力も満載です。この作品は、2013年から1967年へと、過去へさかのぼっていくのですが、この仕掛けが秀逸。主人公は、香港警察の生ける伝説、クワン警視。彼が激動の香港警察の世界をどう生きたのか、事件をどう解決したのか、過去へのタイムマシンに乗った気分で、お楽しみください。

タイトル: 「ほしじいたけ  
ほしばあたけ」

棚: J3~J6  
請求記号: E㊦

著者: 石川 基子 出版社: 講談社 (2015年9月)

日向ぼっこが大好きなほしじいたけとほしばあたけ。嫌いなことは、水にぬれること。ある日、崖から落ちたタマゴダケのこどもを救出するため水につかると……

水につかって最強になった爺さまのピンチには、これまた最強になった婆さまが助けにやってきます。最後はシワシワの姿にもどって一件落着と笑いどころ満載の絵本です。

シリーズに「じめじめ谷でききいぱつ」・「カエンタケにごようじん」もあります。

タイトル: 「海辺の週刊大衆」

棚: A25~A30  
請求記号: F㊦

著者: せきしろ 出版社: 双葉社 (2015年9月)

おもわぬことから無人島に漂流してしまった主人公。傍らにはなぜか週刊大衆が。ここから主人公がひたすら週刊大衆のことだけを考え続ける究極の暇つぶしがスタートします。次は?この手があったか!!尽きることのないアイデアに先を期待します。そして、ふと…~よけいなことはしすぎるほどいいよ~という、あるうたの歌詞を思い出していました。当時はあれこれ余計なことばかりしていたことを許されるような気がして心に響いたものですが、あれ?~しすぎるほどいい~はこの本のように、一つのことをただ突き詰めるといい、ということかもしれない。私、自分に都合よく解釈してただけかもしれないな、などと思ってしまったのです。

## 館長随想 (三十)



九月六日の地震で、利用者の皆さんは、被害はなかったでしょう。私は六日早朝図書館に来ましたが、幸い一冊も本が棚からおちていませんでした。

図書館職員のほとんどは、市電、バスなどで通勤していますから、交通機関が止まると図書館に来るのが難しくなります。その中、車や徒歩で通勤している職員が集まりました。休館の決定が教育委員会からもたらされると、手書きでそれを知らせるポスターを作り、手分けして各地区図書室に貼りに行きました。中央図書館には六人だけ残りましたが、引つ切り無しに鳴る電話の対応に追われました。そのほとんどが、開館していますかということ、予約の本の扱いについてでした。私たちもコンピュータが使えず、予約状況について調べることが出来ません。電源回復後予約の本の取り置き期間を延ばすことだけお答えしました。

中には、休館することにお叱りの電話もありました。私たちも、貸出はできませんが読書のためだけに開けることも検討しました。しかし、ブラインドは閉まり電動で開かないため、館内は本を読むには暗すぎます。トイレは真つ暗で、センサーが止まって洗面所の蛇口や一部の便器の水は出ません。そのようなことで、とても利用者の皆さんをお迎えできないと思いました。午後には、電話機も使えなくなり、個人の携帯電話が通信手段になりました。館内では、停電の異常を知らせる非常放送が止まらなくなって通電まで続きました。夕方になると暗くて仕事がほとんどできなくなり、通電に備える設備保守の職員だけを残して退勤しました。

七日には中央図書館は通電しましたが、地区図書室はまだでした。市電も復旧せず、この日も休館することになりました。いつも図書館の利用いただいている方々には本当に申し訳ありませんでした。この二日間の経験を、これからも起きるかもしれない災害時の対策に活かしていきたいと考えています。

# デジタル資料館

## 紹介



大町消防方纏及模型梯子 (be001039)

こちらは代島剛平が消防組織をつくる際に描いた、大町組のための纏や提灯、装束の考案図です。だんだんと肌寒くなり、暖房を使う季節となってきました。「火の用心」を忘れずにお過ごしください。

# 春



春といえば、  
キレイな桜と新しい生活の始まり。  
こども読書週間もあるこの季節。  
館内に隠れている図書館マスコット  
「ヨムチャンをさがせ」などのイベントを  
開催。なお図書館2階読書テラスから  
見る五稜郭の桜は絶景かな～。



## 季節でみる図書館の一年

図書館では、一年間いろんなイベントが  
行われていることをご存知ですか？  
今回は、そんな中からちよつとだけご紹介。  
他にも特別展示や講演会など盛りだくさん。  
館内ポスターやホームページでご案内します。  
ぜひチェックしてみてください。

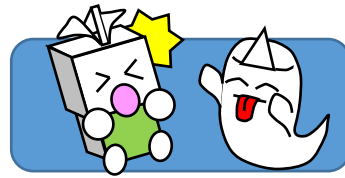


冬といえば、クリスマス。  
開架展示は冬の児童書大特集。  
クリスマス特別上映会。  
なんと一日2回も上映しちゃいます。  
3月が近くなると  
図書館の1階フロアに雛人形が！？



# 冬

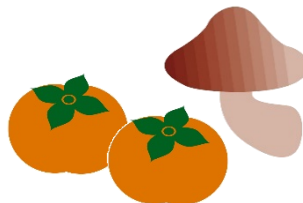
# 夏



夏といえば、  
七夕そして夏休み。  
図書館はいつもと違ったお話し会。  
それは「こわ～いお話し会」。  
工作会など夏のイベントも盛りだくさんで  
図書館で夏の思い出作っちゃおう。



秋といえば、読書の秋。  
毎年恒例となった  
「ブックトーク」を開催。  
おすすめテーマで  
図書館スタッフが本をご紹介。  
今まで出会ったことのない、  
新しい本を見つけるヒントになるかも？  
ぜひご参加を。



# 秋